

# FUKUSHIMA

# WWW



## 会社概要

<b>会社名</b>	READY SOCIAL株式会社
<b>活動拠点</b>	浪江町・大熊町・双葉町（以降拡大予定）
<b>代表者</b>	代表取締役社長 佐藤夏美
<b>スタッフ/選手/ スタッフ家族</b>	登録選手20名：内移住者12名
<b>事業内容</b>	<ul style="list-style-type: none"><li>・サッカーチーム運営・自治体連携</li><li>・森林環境事業・MVNO事業・人材支援</li></ul>

## mission

# 「スポーツは地域インフラだ」

私たちは、スポーツの持つ力をクリエイティビティに  
社会課題・地域課題の解決へと繋がる持続可能な事業に  
変換していきます。

地域に根ざした女子サッカーチームを運営することで地  
域を盛り上げ、関わる方々の人生を

「ワクワクと感動・歓喜で溢れさせます！」

©Copyright 2025 READY SOCIAL inc. All Rights Reserved.



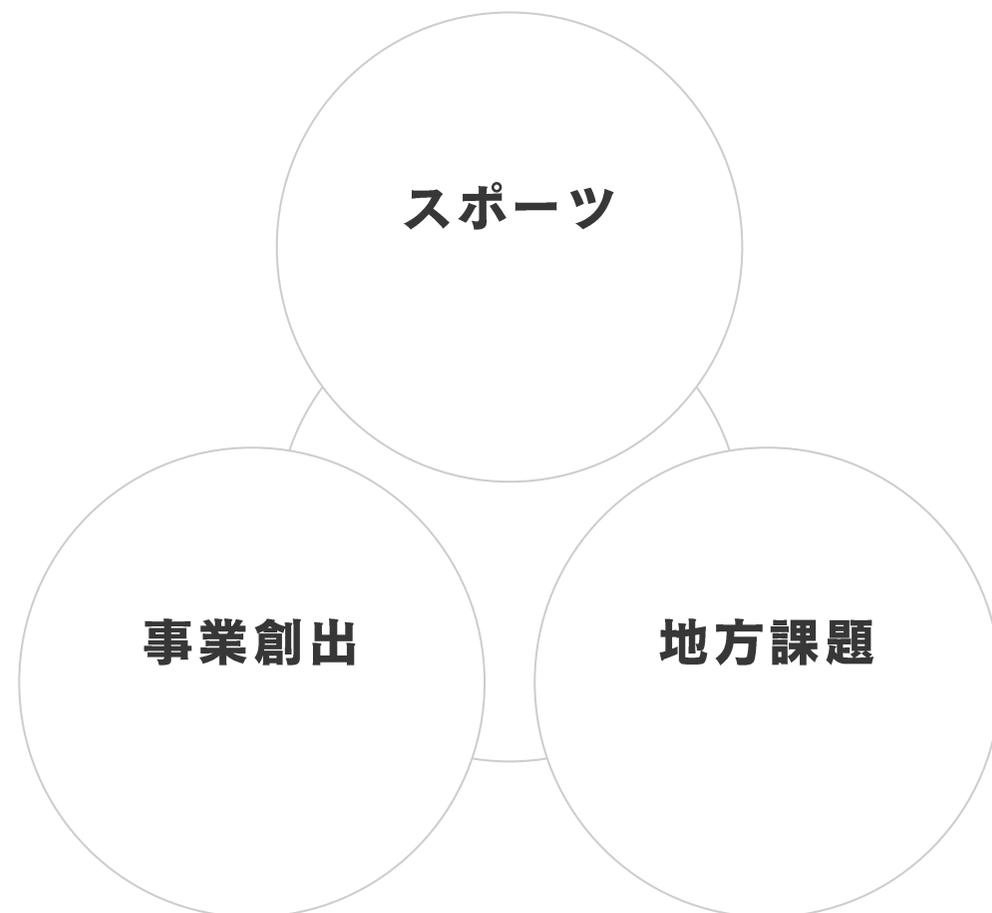
## 概念図

# スポーツを活用した地域活性

スポーツの持つチカラは感動歓喜だけではなく、  
スポーツ選手の移住、域内/域外のコミュニティーの  
形成、地元企業との協業、スポーツツーリズム、賑わい創出  
など多様である

### 望む効果

- 自治体に対しアスリートの移住に伴う人口増加
- 地域企業での雇用人材の提供
- 地域コミュニティーの活性化
- 賑わい創出（スポーツDMOや地域イベントの担い手）
- スポーツの知名度を活かした情報発信



地域コミュニティ



地域づくり共同事業組合



ふるさと納税



スポーツのチカラで〇〇を巻き起こそう！

関係人口増加



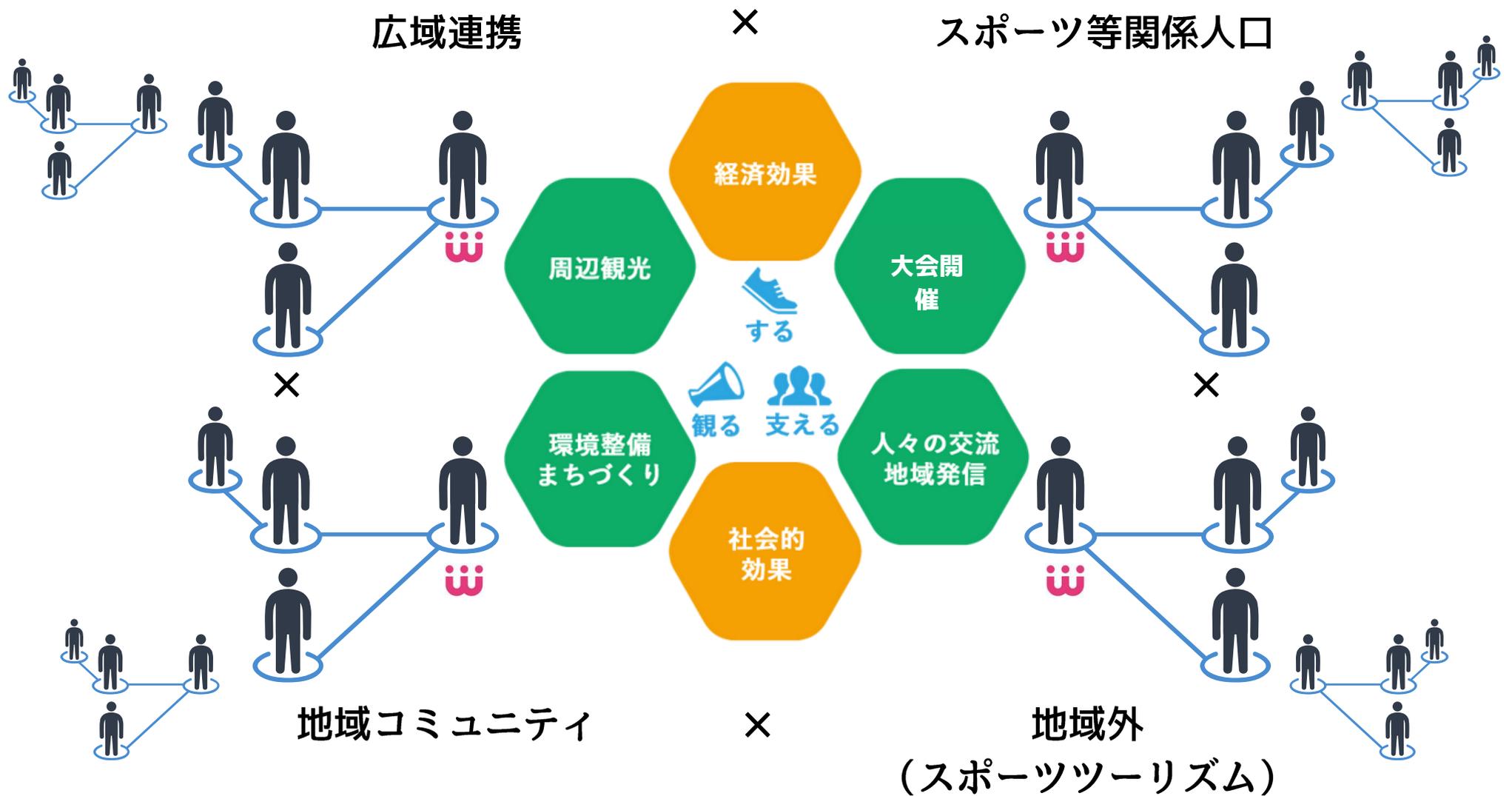
にぎわい創出



情報発信



# 私たちが地域のハブとなりコミュニティ形成の加速



# スポーツのチカラを活用した地域活性



## 森林関連事業/環境イベント

環境イベントの企画・運営・マーケティング

## スポーツインバウンド(DMO)

- ・東北での女子サッカー大会開催によるDMO / グリーンツーリズムによる首都圏小中学生誘致
- ・ホープツーリズムx〇〇による誘致

05

04



## 01 女子プロサッカーチーム運営

女子サッカー選手による移住施策、女子サッカー課題解決

## 02 地域連携(自治体、企業、住民)

リソースを活かした連携により、社会インパクト、経済インパクトの創出を行う

03

## 03 遠征時双葉郡のPR /ふるさと納税PR

全国を132日遠征に出かける為、双葉郡のPR等

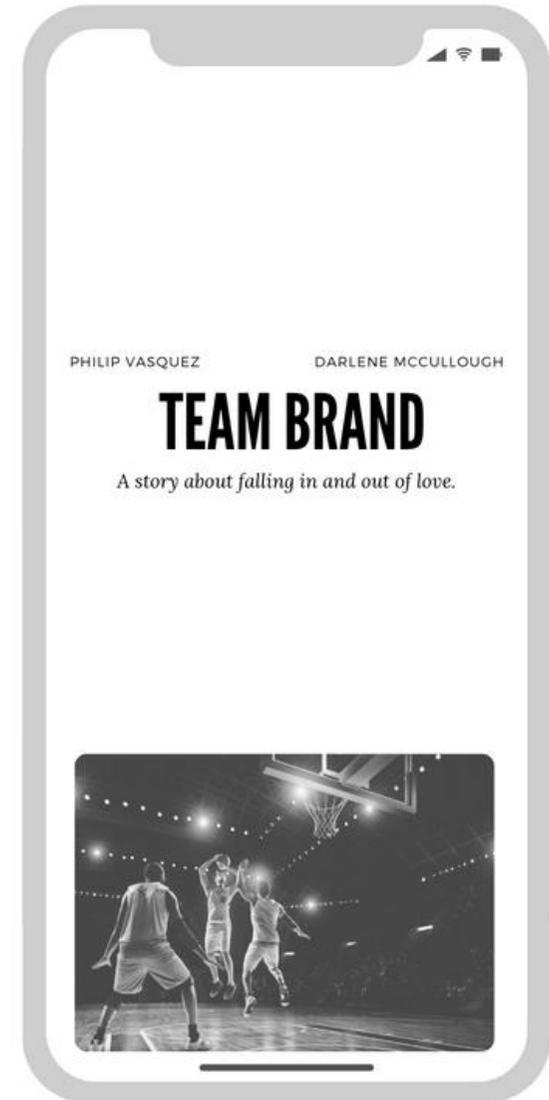
# MVNO事業

## プロスポーツチームや企業を ブランド化したSIMの販売

チームや企業にとって通信量は削減できない大きなコスト  
MVNOとして、社内の新規事業にする事で  
「コスト」▶「高収益」に転換することが可能

チームは既に大きなブランド認知を保有し  
企業は社員という資源を保有している  
チームや企業のブランディングとして、  
Corporate prideのとして自社ブランドSIMを  
ご提案いたします。

通信事業者番号：東通事第89号 I-07-01101



## 森林CN事業

### 森林クレジットのマッチング スポーツ×森林保全 / 森林クレジット創出

スポーツの知名度を活かし、森林保全を加速させ1000年先に続く森林保全を行うため、排出企業と自治体のマッチングを行なっている  
(森林マッチング・保全イベント等)

森林に関する「未利用材」や「ナラ枯れ」などの課題に対し企業や自治体と連携し課題解決に取り組み、森林保全に関する学びの場を創出・植林イベントなどを通じ、ひとりひとりが考え、関われる場の創出を行なっている

未利用材の活用事業や森林クレジットの研究を連携機関と研究し、研究結果を元に企業との連携により森林保全の加速を行うほか、スマート林業の推進やあらゆる施業・施工も行う。

#### 連携企業

- ・ Wood info
- ・ 東北大学
- ・ MIZUNO
- ・ 百



出典 <https://rechroma.co.jp/column/credit/forest>

## Fukushima Teck Create2025採択

- ・ 認証材のデジタル認証システム開発
- ・ 森林クレジットのマッチング
- ・ 林業のDX化支援（連携事業あり）
- ・ オフセットイベントの開催
- ・ 木材製品加工業者と連携した木材価値の向上



# Team Members

## 経営陣



**CEO**

佐藤 夏美

- ・土木舗装造成事業代表
  - ・広告事業代表
  - ・スポーツX事業開発部長
- 地域プロジェクトマネージャー取得



**CMO**

鈴木 一平

- ・SPクリエーション
  - ・iiiマーケティング
- SEOマーケティング資格取得



**CTO**

川村 俊介

- ・株式会社パーソン講師
  - ・株式会社アイエス工業
- ・オフィスボルコ



**アドバイザー**

鈴木 順

- 川崎フロンターレ
- Jリーグ社会連携マネージャー
- モンテディオ山形執行役員

# チームスタッフ (委託/社員)



**監督**

- 名古屋グランパススクールコーチ
- 伊賀くノ一三重監督
- ハリマアルビオン監督



**斎藤有里**

- ヴィッセル神戸スクールコーチ
- マイナビ仙台トップコーチ



**アカデミー監督**

- 繁田 真名美
- JSC KUMIERE U-15 監督
- 開志学園JAPANサッカーカレッジ高等部 監督



**アドバイザー**

- Weリーグ理事
- JEFレディーズ監督
- /GM



**フロント**

- 札幌ノルディーア
- 地域連携
- チーム関連

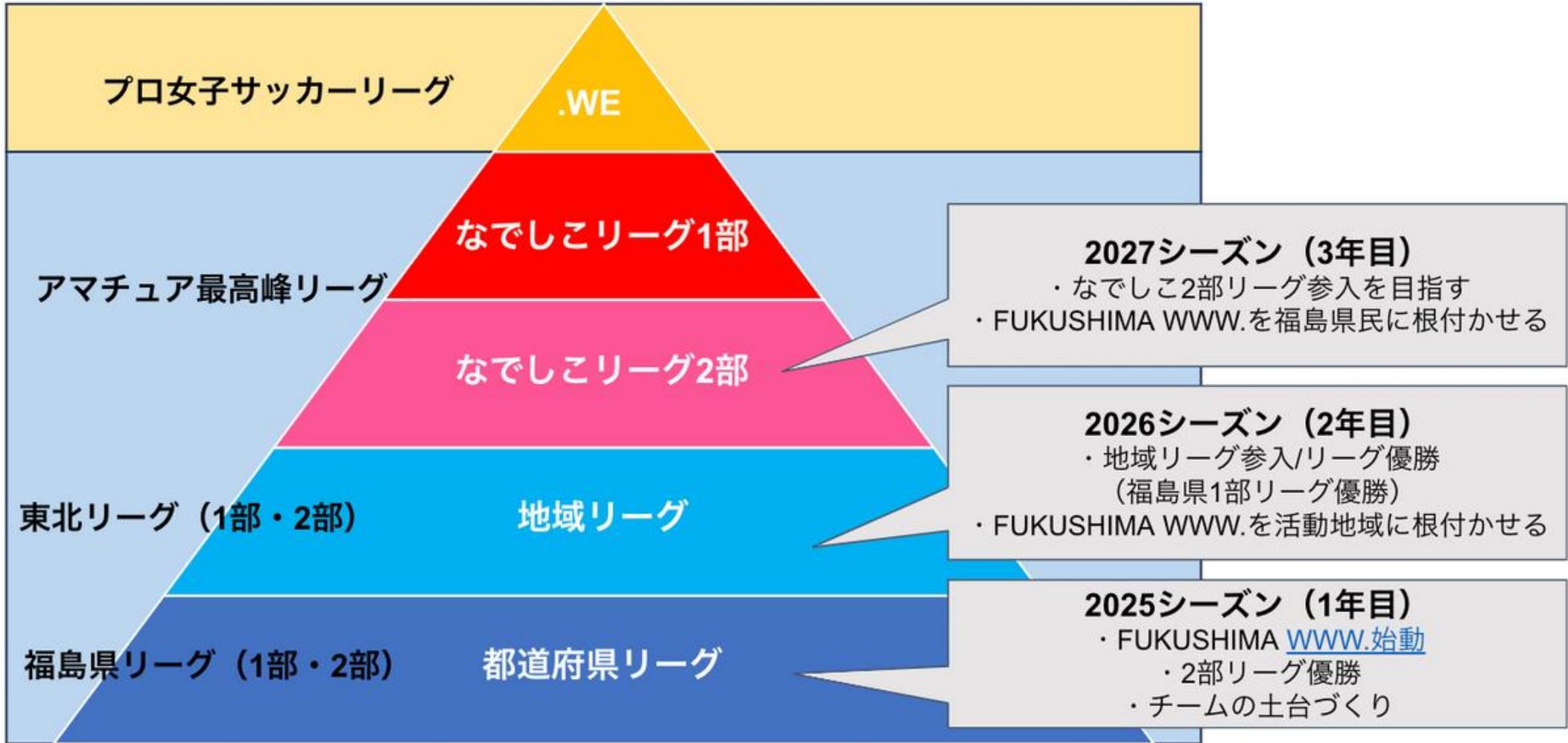


**海外連携**

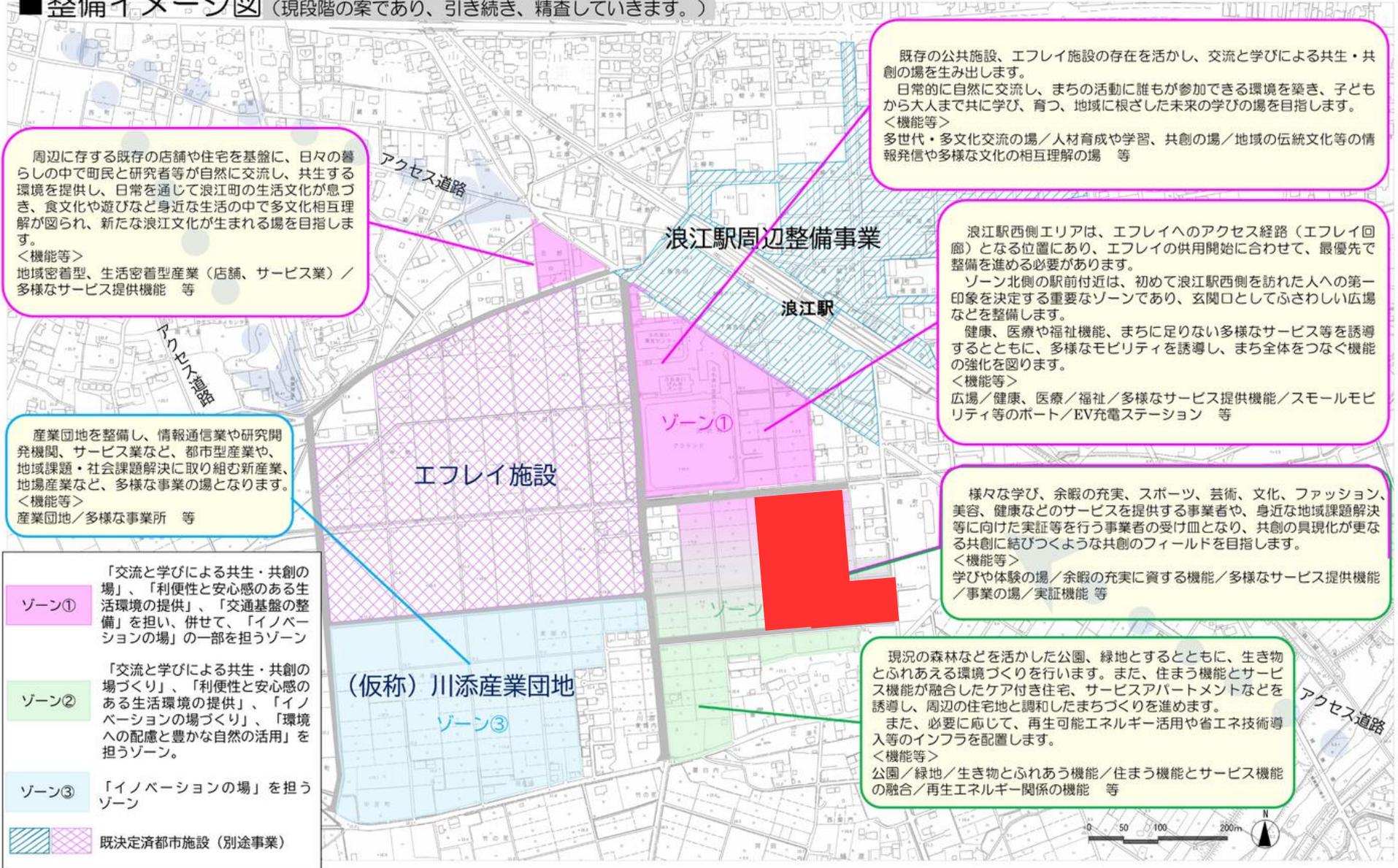
- 澤井 理恵
- 元日本代表
- アイナクック神戸
- DAZN
- KONAMI

スケジュール	2025.4月	2026	2027	2028	2029
1期：女子選手、スタッフ移住/一般スタッフ	16人（選手11人+スタッフ5人）				
1期：女子選手、スタッフ移住	21人（選手15人+スタッフ3人+内部3人）				
1期：女子選手、U-18スタッフ移住	35人（選手7人+スタッフ8人+アカデミー生20人）				
アカデミー（U-18）全寮/RITA学園提携				30人（アカデミー30人）	
アカデミー（U-18）全寮/RITA学園提携				30人（アカデミー30人）	

# 女子サッカー界の構図と私たちが目指すところ



## ■整備イメージ図 (現段階の案であり、引き続き、精査していきます。)



周辺に存する既存の店舗や住宅を基盤に、日々の暮らしの中で町民と研究者等が自然に交流し、共生する環境を提供し、日常を通じて浪江町の生活文化が息づき、食文化や遊びなど身近な生活の中で多文化相互理解が図られ、新たな浪江文化が生まれる場を目指します。

＜機能等＞  
 地域密着型、生活密着型産業（店舗、サービス業）／多様なサービス提供機能 等

産業団地を整備し、情報通信業や研究開発機関、サービス業など、都市型産業や、地域課題・社会課題解決に取り組む新産業、地場産業など、多様な事業の場となります。

＜機能等＞  
 産業団地／多様な事業所 等

- ゾーン① 「交流と学びによる共生・共創の場」、「利便性と安心感のある生活環境の提供」、「交通基盤の整備」を担い、併せて、「イノベーションの場」の一部を担うゾーン
- ゾーン② 「交流と学びによる共生・共創の場づくり」、「利便性と安心感のある生活環境の提供」、「イノベーションの場づくり」、「環境への配慮と豊かな自然の活用」を担うゾーン。
- ゾーン③ 「イノベーションの場」を担うゾーン
- 既決定済都市施設 (別途事業)

既存の公共施設、エフレイ施設の存在を活かし、交流と学びによる共生・共創の場を生み出します。

日常的に自然に交流し、まちの活動に誰もが参加できる環境を築き、子どもから大人まで共に学び、育つ、地域に根ざした未来の学びの場を目指します。

＜機能等＞  
 多世代・多文化交流の場／人材育成や学習、共創の場／地域の伝統文化等の情報発信や多様な文化の相互理解の場 等

浪江駅西側エリアは、エフレイへのアクセス経路（エフレイ回廊）となる位置にあり、エフレイの供用開始に合わせて、最優先で整備を進める必要があります。

ゾーン北側の駅前付近は、初めて浪江駅西側を訪れた人への第一印象を決定する重要なゾーンであり、玄関口としてふさわしい広場などを整備します。

健康、医療や福祉機能、まちに足りない多様なサービス等を誘導するとともに、多様なモビリティを誘導し、まち全体をつなぐ機能の強化を図ります。

＜機能等＞  
 広場／健康、医療／福祉／多様なサービス提供機能／スモールモビリティ等のポート／EV充電ステーション 等

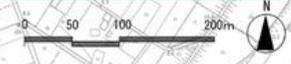
様々な学び、余暇の充実、スポーツ、芸術、文化、ファッション、美容、健康などのサービスを提供する事業者や、身近な地域課題解決等に向けた実証等を行う事業者の受け皿となり、共創の具現化が更なる共創に結びつくような共創のフィールドを目指します。

＜機能等＞  
 学びや体験の場／余暇の充実に資する機能／多様なサービス提供機能／事業の場／実証機能 等

現況の森林などを活かした公園、緑地とするとともに、生き物とふれあえる環境づくりを行います。また、住まう機能とサービス機能が融合したケア付き住宅、サービスアパートメントなどを誘導し、周辺の住宅地と調和したまちづくりを進めます。

また、必要に応じて、再生可能エネルギー活用や省エネ技術導入等のインフラを配置します。

＜機能等＞  
 公園／緑地／生き物とふれあう機能／住まう機能とサービス機能の融合／再生エネルギー関係の機能 等



# 提案) コミュニティパーク構想

## FUKUSHIMA WWW NAMIE WE ARE PARK



出展 <https://nationalstadium-tours.com/?area=277>

- |                              |          |
|------------------------------|----------|
| 【用途】                         | 【人数/室数】  |
| ・ EU式サッカースタジアム               | 】 3,000人 |
| ・ イベント会場                     | 6,000人   |
| ・ 多目的広場                      | 用途毎      |
| ・ 音楽フェス                      | 6,000人   |
| ・ 付帯) オンライン医療モール             |          |
| ・ 付帯) ウェルネスエリア               |          |
| ・ コミュニティースペース<br>(フレイル対策、交流) |          |



出典 <https://sports-facilities.mizuno.jp/cases/product/turf/josei>



出典 <https://sports-facilities.mizuno.jp/cases/product/turf/josei>



出展 <https://www.aichi-toho.ac.jp/archives/41137>



出展 <https://www.gamagori.jp/spot/14>

ボッチャやグラウンドゴルフなど多目的の活用が可能

創出したい場面



KOBE 1995

立場も年齢も性別も超えて

## 創出したい場面



# 提案) ハードの整備により創出したい未来

・ながら運動認定講師 吉本 吾人  
・ミズノスポーツサービスインストラクター



出展 <https://jpn.mizuno.com/program/nagara>

## 1. 多世代交流と新たなコミュニティの創出

スタジアムと医療施設が、スポーツや健康を軸とした幅広い世代の交流を促し、地域に新しいコミュニティの核を形成

## 2. 地域経済の活性化と定住促進

経済波及効果、スポーツツーリズムによる関係人口の増加により地域経済を活性化させ、医療の充実による安心感が移住・定住を促進

## 3. シビックプライドの醸成

女子サッカーチームが地域のアイデンティティのひとつとなり地域住民・帰還できない住民・移住者・人種を超え地域がひとつに



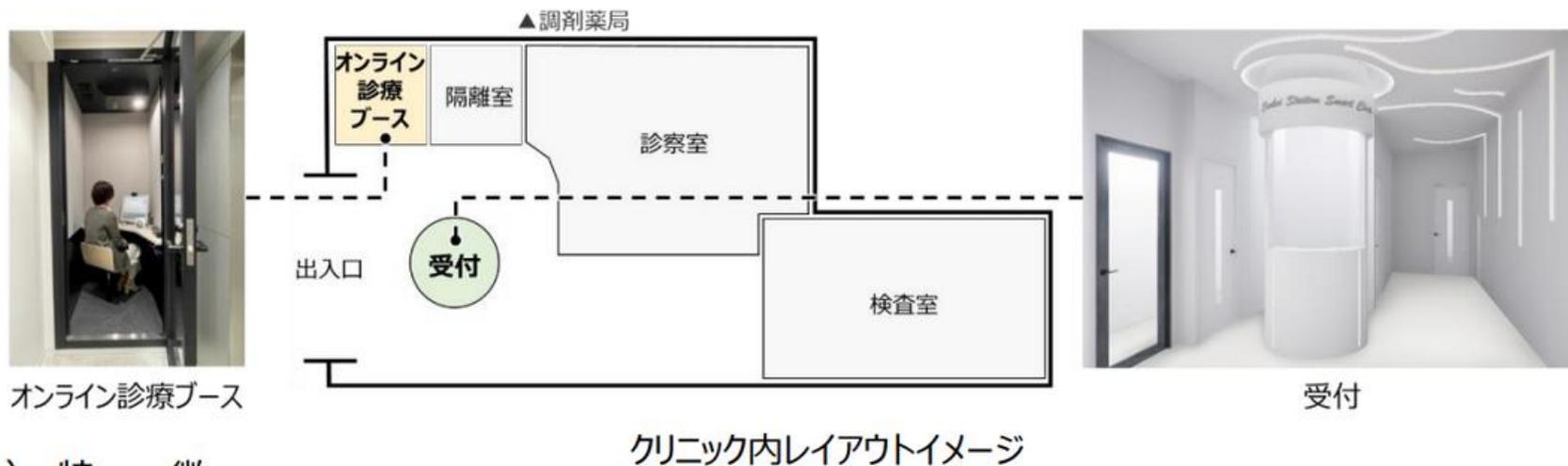
## 4. 多目的広場による趣味を通じた交流創出

付帯する多目的空間は、サッカー以外の様々なスポーツやレクリエーション活動の場となり、共通の趣味を持つ人々が気軽に集い、交流する機会を提供

# 提案) 付帯) オンライン対応付医療モール

## オンライン医療モール効果予測

地方にオンライン診断ができる医療モールを設けることで、高血圧や糖尿病といった生活習慣病の診療を自宅から受けられます。これにより、地域の病院の負担を減らし、さらに診断と並行して健康トレーニングにも参加できるため、住民一人ひとりの健康改善に繋がります。



### (8) 特徴

#### ① オンライン診療ブース・デジタル観察ツール(聴診器)導入

クリニック内に設置するオンライン診療ブースにより、対面での診療時間以外の早朝・夜間・休日にも受診することができます。さらに、デジタル聴診器などの遠隔観察ツールを活用することで患者さまの状況を正確に把握できます。



デジタル聴診器

# 事例：医療

## 【参考 1】「スマート健康ステーション<sup>®</sup>」について

JR 東日本グループは、生活動線上にある「駅」を起点として、JR 東日本グループのネットワークを活かし、オンラインを活用した予防から診療そして診療後までのトータルヘルスケアサービス提供を通じ、お客さまの居住場所や時間にとらわれない「心豊かな暮らし」の実現を目指します。「スマート健康ステーション<sup>®</sup>」の展開を通じて、“社会保険料の増大” “地方における生活インフラサービスの維持” “医師の働き方改革 2024 年問題” など社会的な課題解決にも貢献していきます。

